

授業概要

キャリアという言葉はさまざまな日常場面で使われるが、その意味は単一ではない。この授業ではキャリア発達とキャリア支援の研究および実践活動の基盤となる、さまざまな理論的背景について概説する。その上で学期の終盤に受講学生が自らのキャリア発達について考える機会を設ける。

学期の前半～中盤は講義形式を中心とするが、学生からの疑問や質問には可能な限り細かく対応したいと考えているため、状況によっては演習形式を取り入れる可能性もある。また、学期の終盤の内容は講義だけではなく、自らが考え、行動するアクティブラーニングの要素を取り入れる予定である。受動的な学習ではなく、自らの経験を増やす能動的な学習態度を受講学生には期待する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方・成績評価、など）
第 2 回	キャリアの定義
第 3 回	キャリアに含まれる意味
第 4 回	キャリア発達に関する研究と実践活動
第 5 回	理論の概説① 自己概念を中心としたキャリアに関する理論
第 6 回	理論の概説② 環境との相互作用に焦点をおいたキャリア行動に関する理論
第 7 回	理論の概説③ 学習理論に基づくキャリアに関する理論
第 8 回	理論の概説④ 意思決定過程に基づくキャリアに関する理論
第 9 回	理論の概説⑤ 組織内キャリアに関する理論
第 10 回	理論の概説⑥ その他の理論
第 11 回	中間まとめ
第 12 回	日本におけるキャリアに関わる現況
第 13 回	自分のキャリアを考える① 自己分析
第 14 回	自分のキャリアを考える② 大学卒業後を見据えた計画づくり
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

キャリアという多義的な用語で表現される内容の多様性を理解し、自らのキャリアについて考える基盤を形成することが第一の目的である。第二の目的として、キャリア・カウンセリング等、キャリア支援の現場での考え方の基盤を理解することを挙げる。

履修上の注意

毎回、授業の最後に「リアクションペーパー」の記述を求める。その日の講義内容をどの程度理解しているかを簡潔にまとめて記述してほしい。このペーパーに講義への疑問や質問等を書き込んでも良い。翌週の講義始めに、ペーパーに書かれた疑問への回答を行う。

なお、疑問や質問はなるべくその日の授業中に解決してほしいので、授業中に積極的に発現することを歓迎する。ただし、授業と関係のないおしゃべり（私語）は厳禁。私語を含め周囲に迷惑をかけるような行動がみられる場合には、退席を求め、以後の出席を認めない（単位の認定対象から外す）という措置をとることもあり得る。

予習・復習

特に予習は必要ないが、なるべく事前に授業プリントを配布するので、目通ししておくといよい。リアクションペーパーに書かれた疑問や質問に対して担当教員が加える説明も含めた講義内容を基に、考えを深める姿勢が復習の一形態だと考える。

評価方法

平常点（授業への参加態度、リアクションペーパーへの記述内容）が3割、定期試験が7割である。第1回の講義で評価方法の詳細を説明する。

テキスト

特に指定しない。授業中に配布するプリントに沿って授業を進める。参考書は授業中に紹介する。
参考書例)「新版 キャリアの心理学ーキャリア支援への発達のアプローチ」(ナカニシヤ出版)